

助産学専攻科

教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）

助産学専攻科は、本学の「徳をのばす」「知をみがく」「美をつくる」の建学の精神を基盤に、高度な専門知識や、助産ケアを提供するための技術を身につけ、生命誕生の瞬間に立ちあえる喜びと誇りをもち、人として美しく調和が取れる助産師を育成するために、以下の方針に基づいてカリキュラムを編成する。

1. 助産学基礎領域では、女性のライフサイクルや乳幼児の成長発達に必要な支援、助産学研究など助産師としての基礎知識を学び、助産師としてのアイデンティティについて考察する。
2. 助産学実践領域では、助産師に必要な診断とケアの実践能力を身につける。
3. 助産学関連領域では、健康科学の関連領域から食育、住環境、脳機能の観点で助産に役立つ知識を学び、医療職種間の連携についても知識を深める。

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

畿央大学助産学専攻科では、修了要件に必要な単位を修得し、以下のような能力を身につけた学生に修了証書を授与する。

1. 人間性豊かで対象を尊重できる。
2. 母子をとりまく社会のニーズや、産科医療の高度化並びに助産ケアの多様性に対応できる。
3. 女性のライフスタイルにおけるリプロダクティブヘルスに関する課題を捉えることができる。
4. 保健・医療・福祉チームとの連携を図り、地域社会に貢献できる。
5. 助産師としてのアイデンティティを形成することができる。